

第79回 愛知県中学校総合体育大会軟式野球大会 競技上の規定及び留意事項（案）

1. 競技規則は、本大会「競技上の規定及び留意事項」の適用を最優先とし、**2025年**公認野球規則、**並びに、2025年（公財）全日本軟式野球連盟競技者必携** に準じて行う。

【道具・ユニホームに関すること】

2. 監督・コーチは選手と同一ユニフォームを着用する。選手の背番号は「1～20」と**ポジション順**とする。尚、監督は「30」番、**コーチは「29」「28」番の背番号を着用する。**監督・コーチは、選手と同色のスパイク（シューズ）を着用する。
3. **ソックスの上にストッキングを必ず着用する。**スネの保護にならないハイカットのストッキングの着用を禁止する。ストッキングはアーチが見える形状とする。
4. 捕手は試合中、プロテクター、ヘルメット（帽子と同系色）、レガース、スロートガード、ファウルカップを着用する。スペア捕手もフル装備で投球練習を受けること。（ブルペンでも同様とする）
5. 打者、走者、次打者、ベースコーチ、バット引きはヘルメット（帽子と同系色）を着用する。（両耳タイプの物に統一する）色は白・黒・紺か、又は帽子と同系色とする。亀裂のあるものや内側の保護パットがついていないものやパットが固定されていないものは使用できない。
6. リストバンド・バットリング・マスコットバットなどの球場内への持ちこみを禁止する。（試合に関係ない物は持ち込まない）
7. 金具の装着されたスパイクの使用を認める。なお、スパイクの色は、白または黒が混在していてもよい。
8. バッティング用の手袋の装着を認める。ただし、**白または黒色の単色の物に限る。**（打者走者とベースコーチとの手袋の受け渡し× 手袋を握っての走塁×）なお、ランナー専用の手袋については、全中の規則にある「ひとまわり大きいサイズの走塁用手袋の使用はできない」に則り、禁止とする。
9. メガホンの使用は監督に限る。ベンチでの喫煙、**サングラスの使用を禁止**する。ただし、医療目的の場合、事前に本部へ申請し、審判と相手の監督が認めた場合はサングラスの使用を認める。（監督、コーチ、選手）
10. 変形した金属バットや硬式用の金属バット、くぼみや亀裂の認められるもの（参考：長さ8mm以上の亀裂は×）は使用できない。（JSBBの公認バット、単一素材の木製バットのみ使用可）また、バットの握りの部分については、市販のグリップテープを使用する。グリップテープが切れていたり、明らかに止まっていなかったりするものは使用できない。
11. 投手のグラブの色は、縁取り・縫い糸を除き白色・灰色のもの（PANTONEの色基準14番より薄い色）は使用できない。また、縁取り、しめひもを除く本体（捕球面・背面・網（ウェブ））は1色でなければならない。なお、捕手や野手のグラブの色に制限はない。

【試合進行に関すること】

11. ベンチは組み合わせの若い番号を一塁側とする。
12. ベンチには次の人員以外入ることができない。監督（**教員に限る**）1名、選手20名、当該学校教職員2名（1名は外部コーチ可）、学校長、スコアラー（生徒に限る）の最大計25名までとする。試合中、グラウンドに出られるのは、選手、監督のみとする。（補助員はあくまでもノック補助員なので、試合中はベンチ外とする）
13. メンバー表は5部提出する。第1試合は開始30分前に、以後は前の試合の**開始1時間後4回終子時**をめどにそれぞれ監督・主将が本部席へ提出する。

14. 先発バッテリーのみに限り、試合前のブルペン使用での練習を認める。使用できるのは、攻守決定後とする。~~（4回以降をめぐり、初回から一方的な試合展開となり、コールドゲームが考えられるときは早める）~~
15. 試合前の練習およびシートノックは選手20名以内で行う。ただし、補助員（ユニホーム（そろいのチームTシャツでも可）・ヘルメット着用）5名を認める。背番号がない選手は、ウォーミングアップに参加しない。なお、外野でハーフ打撃等の打撃練習をしない。
16. シートノックは後攻側から始めて7分以内とする。ただし、試合が延びているときは省くことがある。なお、**ノックの際、マウンド付近には入らない。**
17. 投球練習は、初回及び初めてマウンドに上がった投手→交代時は7球以内、インニングの初めや再登板の場合は3球以内とする。投球練習後は速やかに、打者は打席に入り、バッテリーは投球の準備をする。インニング初めのネクストバッターの待機位置は、「ワンモアピッチ」の段階でダートサークル付近にいればよいものとする。なお、インニング中のボール回しはしない。
18. 自軍ベンチ側のファウルボールを速やかに拾い、バックネット脇の補助生徒に渡すことができるようにする。
19. 無用のタイムは慎み、試合進行に協力する。
 - (1) 打者はみだりにバッターボックスをはずさない。
 - (2) 投手が捕手のサインを見るときは、必ずプレートを踏んで見ること。
 - (3) タイムは1分間を限度とする。ただし、審判員が認めたときはこの限りではない。
20. 延長戦は行わない。7回（最終回）を終了して勝敗が決定しない時は、継続打順によるタイブレークを行う。

※「タイブレーク」

7回の最終打者を一塁走者とし、二塁・三塁の走者は順次前の打者として無死満塁の状態にして1インニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。なお、勝敗が決しない場合は、さらに継続打順で繰り返すこととする。（試合終了時の得点表示は、特別ルールの回を含めた合計得点とする）
21. コールドゲームは得点差による場合のみとし、3回10点差、5回以降7点差を生じた場合とする。（決勝戦を含む全試合に適用）なお、暗黒、降雨、その他の事情で試合続行が不可能と判断された場合は、特別継続試合とする。
22. 全ての試合に時間制限を設ける。初回の「プレイ」から90分（本部で計測）を経過して新しいインニングに入らない。ただし、グラウンド整備や給水タイム、突発事故や天候に関わる中断の時間は除く。
23. 突発事故が起きた場合（一時走者を代えたいとき）は、球審に申し出て、審判団が必要と認めるときは許可する。また、頭部への死球については、必ず臨時代走を送る。（投手・捕手を除く、直前にアウトになった打順の選手）
24. 審判員の宣告に異議を申し出ることには許されない。ただし、規則上の疑義については原則として監督および当該プレイヤーのみが質問することを許される。
25. ゲーム中、監督は次の場面以外、ベンチから出てはいけない。
 - (1) 選手交代の申し出をする場合
 - (2) 選手がけがをした場合
 - (3) 審判員の宣告に対して疑義を申し出る場合
 - (4) 選手への指示を簡潔に行う場合（必要以上に行わない）
26. 規則5. 10 (ℓ)（監督が投手のもとへ行く制限）は適用しない。~~を適用する。~~
27. 規則5. 10 (d)（原注・投手は同一インニングで投手以外の守備位置に二度つくことは許されない。）は適用しない。
28. 投手の投球インニング制限を設ける。

※ 同一投手の投球は、1日7インニングまでとする。ただし、先発投手が7インニングを投げきりタイブレークになった場合は、1日最大9インニングまで投げることができる。また、タイブレークとなった場合に登板することができる投手の制限はない。なお、ピッチクロックの

計測は行わない。(東海大会からは計測を行う)

29. DH 制は適応しない。(全国大会まで適応しない)

30. タイムの回数制限は、①監督が投手の所へ行ける回数(投手交代の場合は回数に含まない)、②守備側のタイム(捕手または内野手が投手の所へ行く)の回数、③攻撃側のタイムの回数は、いずれも3回以内とする。延長戦は、1イニングに1回とする。

31. 試合終了のあいさつで、すべて完了とし、速やかにベンチを空ける。相手ベンチへのあいさつは行わない。

【その他】

31. 組み合わせの1・2回戦は、同一地区同士の対戦をさける。

32. 本部席へは、大会役員・競技役員以外の入室を禁止する。

33. 応援団は次の事項を守ること。

(1) 紙吹雪・テープ・個人名の入ったのぼりなどの使用を禁止する。

(2) 相手チームをやじったり、相手チームに不利を招くような応援をしたりしない。

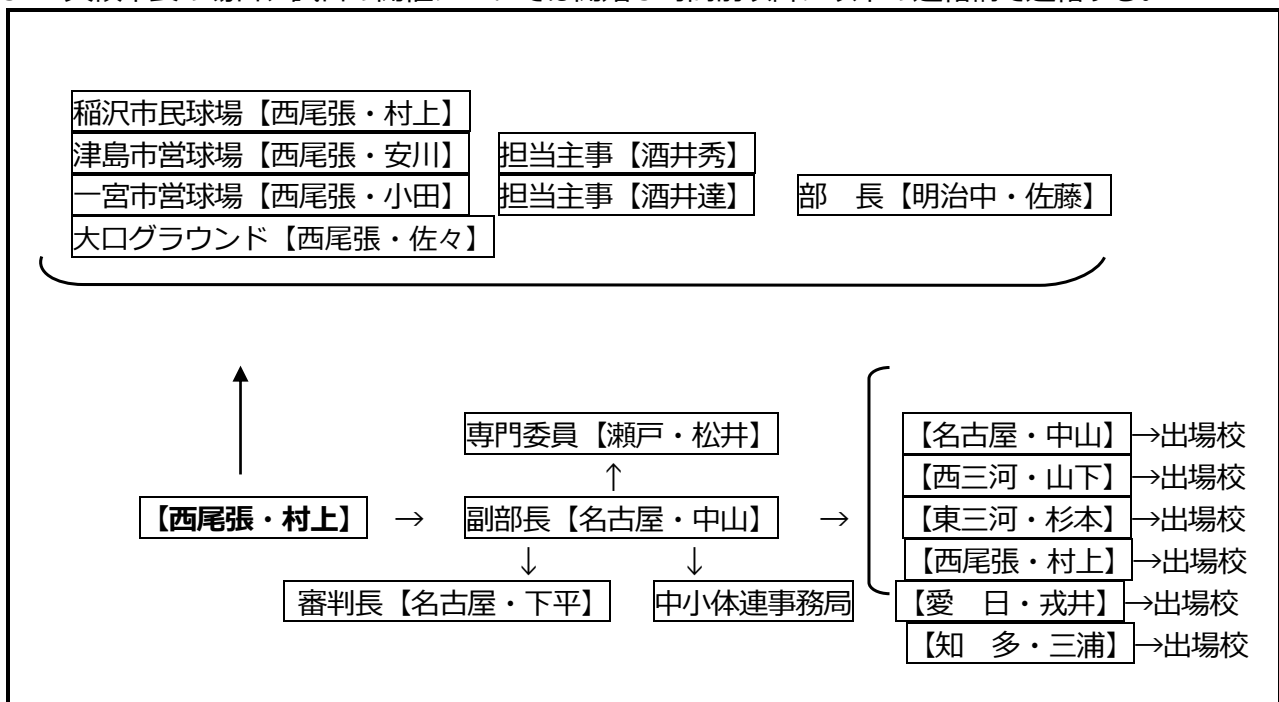
(3) 球場の構造物をたたいて音を出すような方法はとらない。

(4) 鳴り物については攻撃時使用可。

(5) 応援席周辺をちらかしたり、中学生らしからぬ行為をしたりしない。

【試合の決定・連絡について】

34. 天候不良の場合、試合の開催については開始3時間前以降に以下の連絡網で連絡する。



35. 愛知県中小学校体育連盟HP (<http://aitairen.jp>) に、大会の進行状況を掲載するので、必要があれば確認する。

【熱中症対策】別紙参照